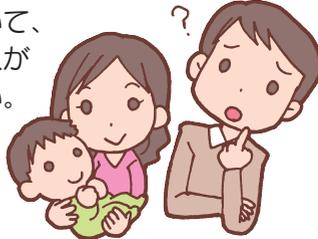


II 上手な受診のしかた

受診するときは以下のことに気をつけるとスムーズです。

連れて行く前に

- つれていく方 ▶ お子さんの様子について、一番よく知っている人がつれて行ってください。



● 持っていくべきもの

- 母子健康手帳
- 熱がある場合、メモか熱の推移についてのグラフ（体温表）
- ほかの病院でもらった薬の名前が書かれた紙（「おくすり手帳」など）があれば持って行ってください。
- 便の様子がおかしいときは、便を持って行ってください。おむつについたままで結構です。



外来に着いたら

1 食べ物（特にアメ、ガムなど）を絶対に与えないでください。

先生が口の中がよく見えないばかりか、気管に入って窒息する危険があります。



2 以下の場合、受付にお伝えください。

できれば受診の前に電話しましょう。

症状が重い

- ・ 何度も吐く、息が苦しい。
- ・ ぐったりしている。
- ・ 顔色がとても悪い。

先に診察することがあります

発疹がある場合

別室で診察することがあります
(感染症の場合があります。)

※すでにアトピー性皮膚炎などと診断されている場合を除く。

診察の時は

できるだけ時間の流れにそって、落ち着いて、症状(いつから、どうなったか)を伝えましょう。



特に聞きたいことがあるときは、要点を書いて先生にわたすのも一つの方法です。受付から渡してもらってもいいかも。

お気に入りのおもちゃなどは、持ち込んでも結構です。
(先生が診察しやすくなる場合があります。)

